

愛媛大学医学部附属病院を受診している患者さんへ

研究に対するご協力をお願い

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。
この研究は、愛媛大学医学部附属病院の臨床研究倫理審査委員会での審査・承認後、当院
で病院長の許可を受けて実施しております。

今回の研究では、患者さんのカルテの記録や通常の診療で行った検査結果を使用します。
研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテの情報を利用することにご了解いただけない方
は、以下のお問い合わせ先までご連絡下さい。ただし、研究結果が出た後など研究の対象か
ら削除できない場合もありますのでご了承ください。

※試料・情報の利用を拒否された場合でも、あなたが不利益を受けることはありません。

研究課題名	愛媛大学医学部附属病院歯科口腔外科・矯正歯科で口腔外科小手術を施行した糖尿病患者の臨床的検討
研究機関名	愛媛大学医学部附属病院
試料・情報の提供を行う研究機関の長	愛媛大学医学部附属病院 病院長 杉山 隆 (試料・情報の提供元の管理責任者)
研究責任者 (個人情報管理者)	(診療科名) 歯科口腔外科・矯正歯科 (職名) 特任講師 (氏名) 栗林伸行
研究期間	研究機関の長の許可日 ～ 2029 年 12 月 31 日
対象	2019 年 4 月から 2029 年 3 月に愛媛大学医学部附属病院を受診された方のうち糖尿病病と診断され、口腔内処置を受けた患者さん
利用する試料・情報等	(利用するカルテ情報) 性別、年齢、発症時期、合併症、既往歴、身体所見、血液検査データ、画像検査データ、治療状況 等
研究の概要	糖尿病は全身の代謝異常を引き起こし、口腔内組織の炎症や感染のリスクを増加させます。また、口腔内の炎症は糖尿病の血糖管理を悪化させ、双方が悪循環を形成することが知られています。そこで、愛媛大学病院歯科口腔外科・矯正歯科で口腔外科小手術を施行した糖尿病患者についての調査を行い創部感染率等の実態を把握する事を目的とします。
個人情報の取扱い	この研究で収集される試料・情報等は氏名、住所、生年月日など患者さんを直接特定できる情報を削除して誰のものかわからないようにした上で利用いたします。患者さんを特定するための情報(対応表)は、院内で個人情報管理者が厳重に保管し外部への提供は行いません。 また、保管される試料・情報等を新たな研究に利用する場合は、新たな研究として倫理審査委員会に申請し、承認されてから利用いたします。なお、研究結果は

	学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。
お問い合わせ先	愛媛大学医学部附属病院歯科口腔外科・矯正歯科 栗林伸行 791-0295 愛媛県東温市志津川 454 Tel: 089－960－5393